

勿凝学問 131

大新聞の「社説」にみる消費税と社会保障

2008年1月15日
慶應義塾大学 商学部
教授 権丈善一

日経ニューステレコム 21 を用いて、過去 3 ヶ月の記事を対象に、キーワード「社説 消費税 社会保障」で検索。

	ヒット数	代表的社説	負担増	社会保障目的消費税
朝日	15	「 消費増税なしに安心は買えぬ 」 2007年12月9日	○	○ 第一の立場
産経	2	不明		
日経	10	「 成長と歳出抑制が消費増税の前提だ 」 2007年11月21日	×	×
毎日	21	「 税制改正大綱 増税の姿を偽りなく示せ 」 2007年12月14日	○	△
読売	28	「 消費税を社会保障目的税に 」 2008年1月11日	○	○ 第一の立場

注) △ 毎日新聞は社会保障目的消費税とまでは言っていないが、「まず、やるべきことは、国民が安心できる社会保障の姿に対応した負担の額を偽りなく提示することだ」とは言及。

ここで、第一の立場、第三の立場とは・・・

今年 2008 年は社会保障に関わる人たちは、三つの立場のうちいずれに付くかの選択を迫られる。社会保障に用途を限定した租税・社会保険料の負担増を言う第一の立場を支持するか、社会保障のためと言えども負担増は許せず政府のムダを削除して財源を確保すると言い切る第二の立場を応援するか、それとも、再分配は成長の足枷になるとみて成長重視の視点から社会保障を最小限に留める第三の立場を信じるかである。二〇〇八年は、これら三つ巴の論戦が展開されることになる。

権丈(2008)「[社会保障関係者、二〇〇八年の選択——国論三つ巴となる財源調達論](#) (新春論壇)」

『週刊社会保障』 No.2463, January 2008 Volume62

野党のほとんどが主張し、医療界にも散見する、ムダの削減で社会保障をという第二の立場をとる新聞は、今のところどこにもない。ちょいとかわいそうだから、どこかの新聞が、彼らを支持してくれることを待望中(￣。￣)ボソ...